

主要企業ヒアリング調査

調 査 結 果

【主要企業アンケート・ヒアリングの概要】

調査概要	中部地方を代表する企業を対象として、国・地域づくりの今後の価値観や近年の社会資本整備に対する評価等について、ヒアリング及びアンケート調査を行った。
調査手法	アンケート用紙を事前送付。後日回収時にヒアリングにて聞き取り
調査実施時期	8月下旬～9月中旬

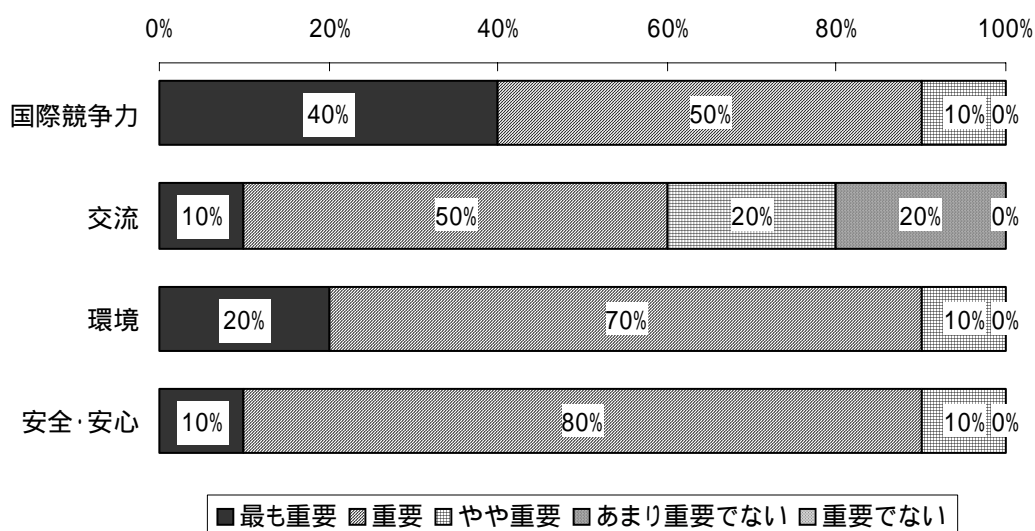
1. アンケート結果

国・地域づくりの今後の価値観のあり方について

問1 中長期的な国・地域づくり方向軸の優先順位

下記に示す4つの国づくり・地域づくり方向軸について、どの軸が中長期的なものとして最も重要であると思われますか。4つの方向軸について、それぞれの重要度をお答えください。

最も重要との回答は、「国際競争力」について最も多く見られた。一方、あまり重要でない、重要でないとの回答は、「交流」以外では見られなかった。



< 主な意見 >

「最も重要」と思われた理由

- ・ 国力、富がなければ国家は成り立たない！
- ・ 今後は経済的な関係以上に、外国人を含めた人的移動・交流あるいは文化交流が、国際関係強化や地域間交流に有効であると考えするため。
- ・ 職人が少なくなってきた。今後、2007年問題にどう取り組んでゆくのかが肝要。
- ・ 自動車に依存している社会において、環境負荷の小さい鉄道利用へシフトしていくことが重要である。

「あまり重要でない」「重要でない」と思われた理由

- ・ 国内外との交流は自然に活性化することを考える（必要性が発生すれば）
- ・ 国内外との交流拡大という考えは重要ですが、過剰と思われる設備等をつくってまで行う必要は感じない。海外も求めているとは思われる。心の交流につながるとは思えない。

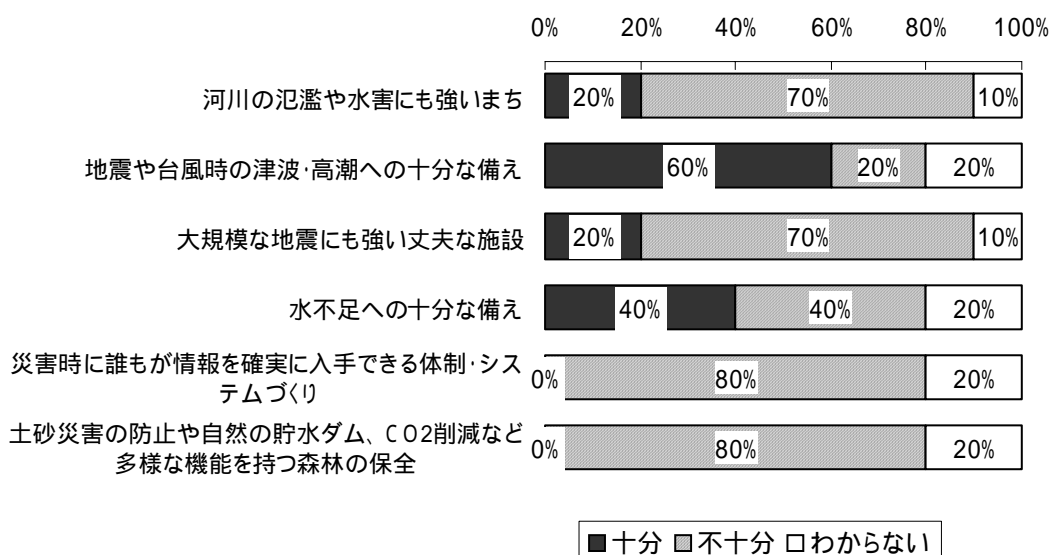
問2 今後期待される地域づくり・まちづくり施策について

下表は、問1でお尋ねした4つの方向軸について、考えられる具体的な事業・施策を表しています。これらの施策について、「中部地方の現状に対する評価」と、「中部地方の今後の地域づくりから見た重要性」を、企業のお立場からそれぞれお答えください。

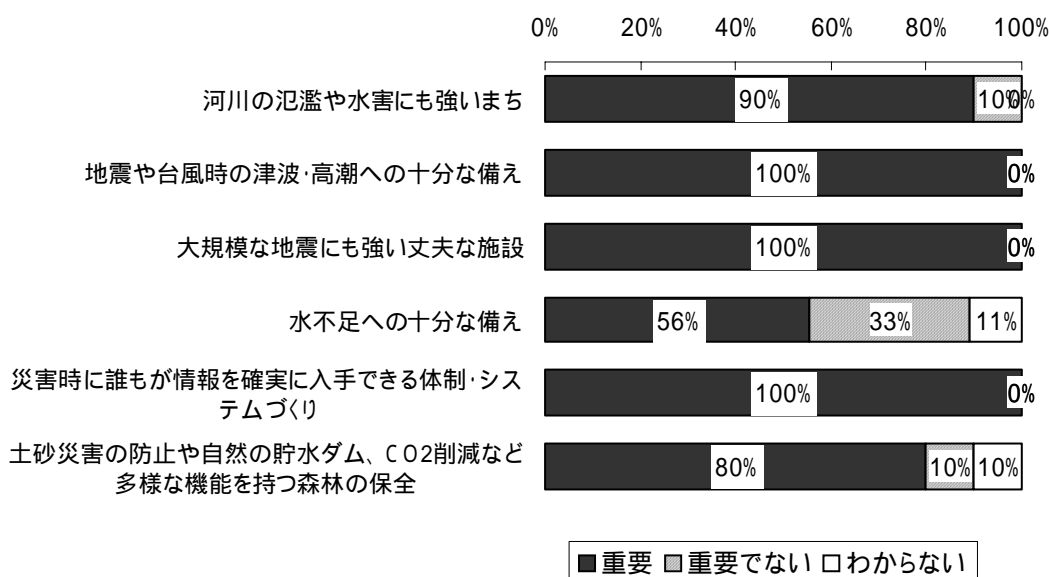
安全・安心

地震等への備えは「十分」との回答が6割を占める。一方、災害時の情報入手体制・システムや防災面から見た森林保全については、8割が「不十分」と回答した。

中部地方の現状に対する評価



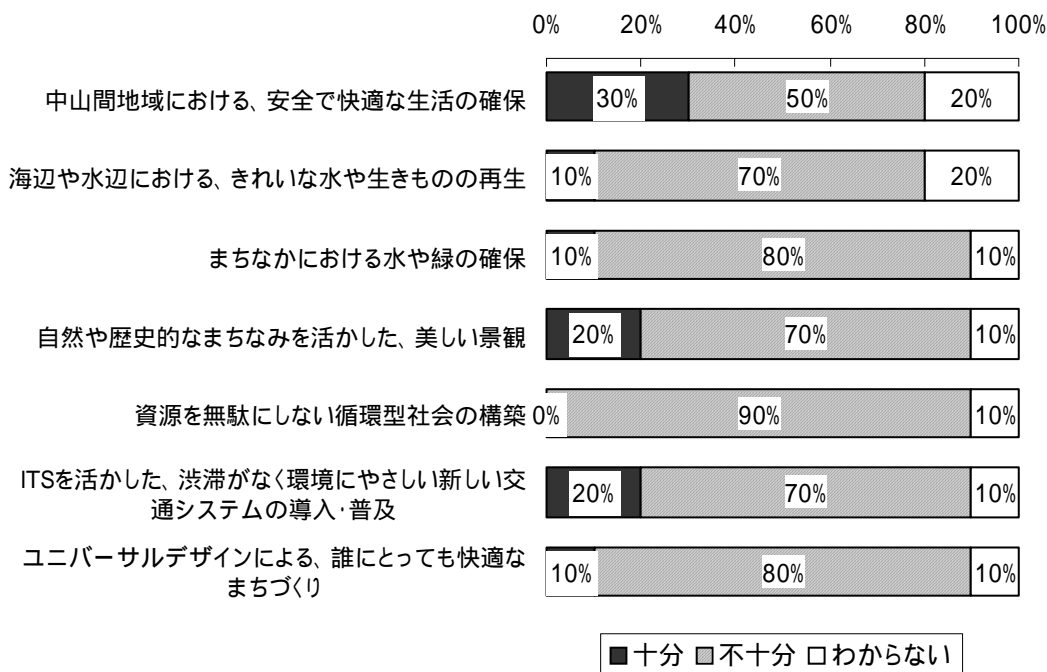
中部地方の今後の地域づくりから見た重要性



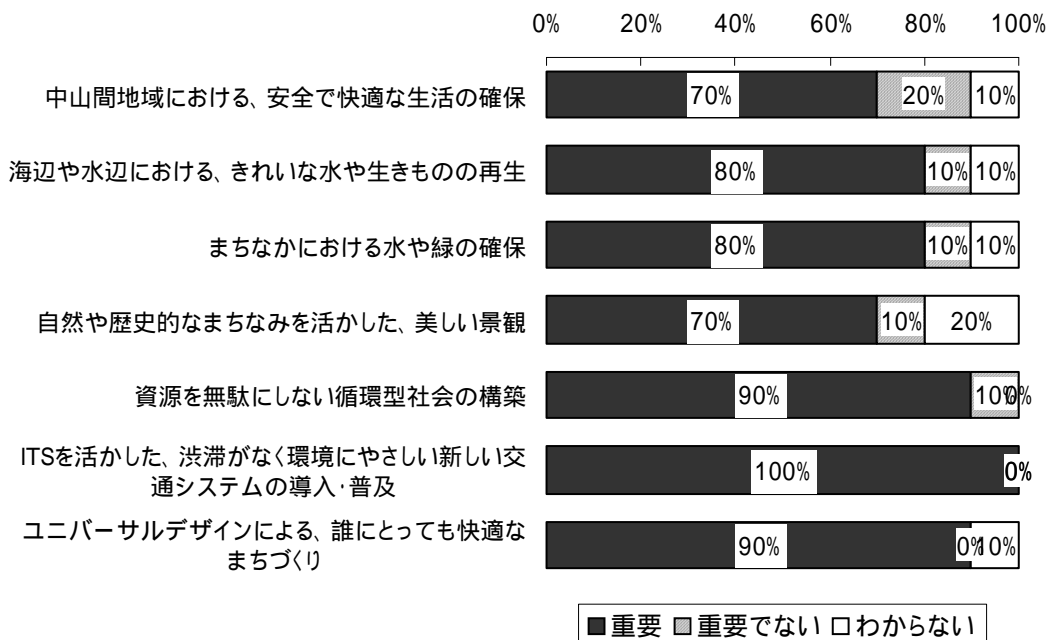
環境

現状で、循環型社会の構築について「十分」とする回答は見られなかった。
新交通システムの導入・普及については、全員が「重要」と回答した。循環型社会の構築、ユニバーサルデザインのまちづくりについては、9割が「重要」と回答した。

中部地方の現状に対する評価



中部地方の今後の地域づくりから見た重要性

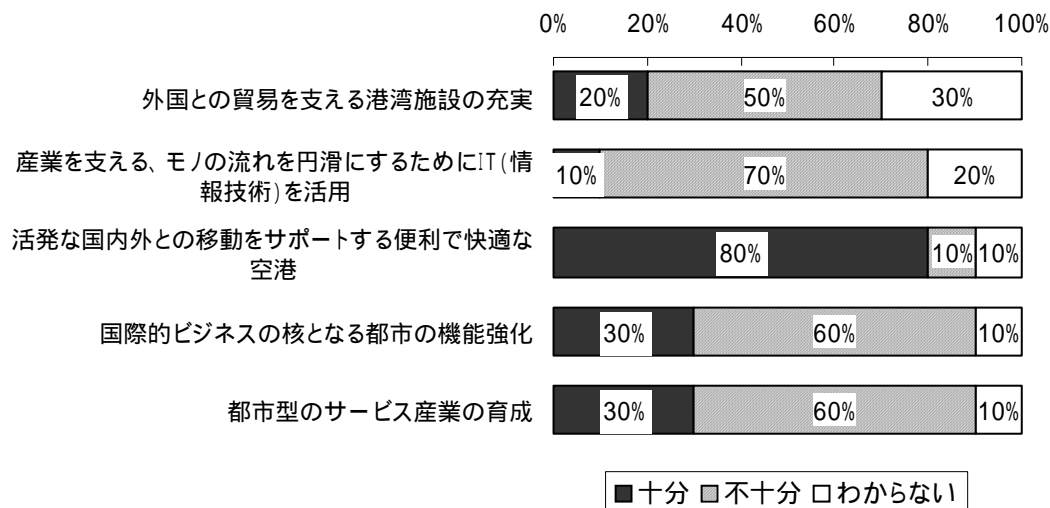


国際競争力

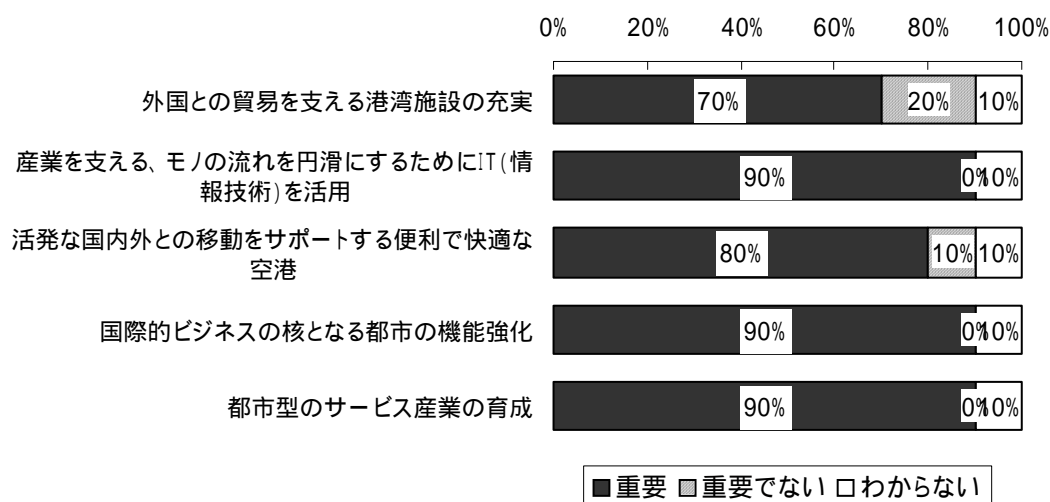
空港については８割が「十分」と回答しており、現状に対する評価は高い。

港湾施設の充実については７割が「重要」と回答しており、今後の整備に対する期待が高い。

中部地方の現状に対する評価



中部地方の今後の地域づくりから見た重要性

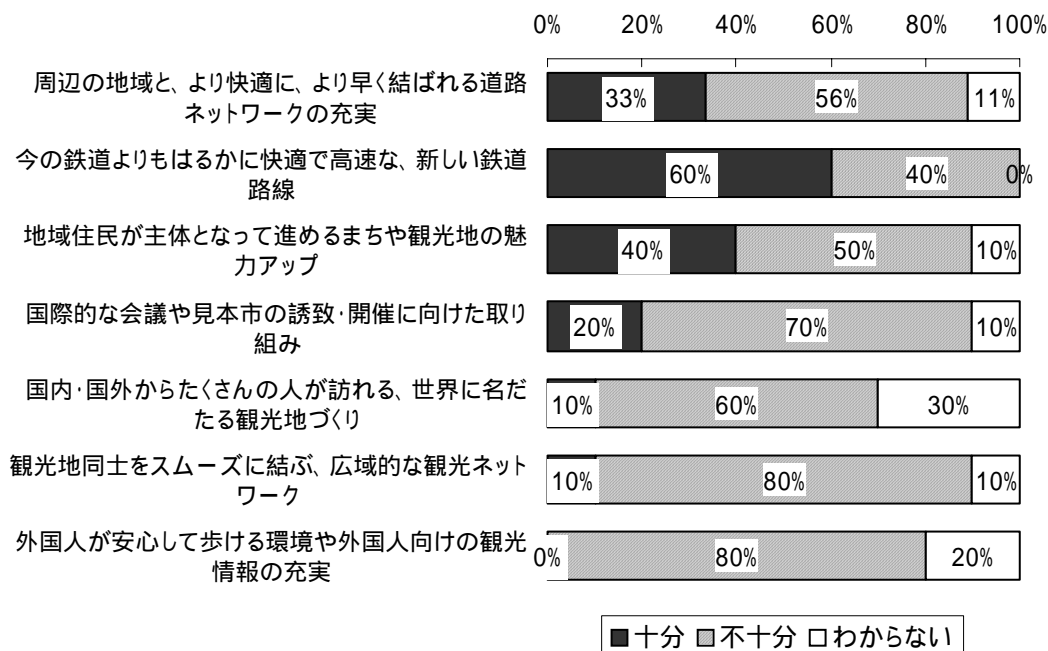


交流

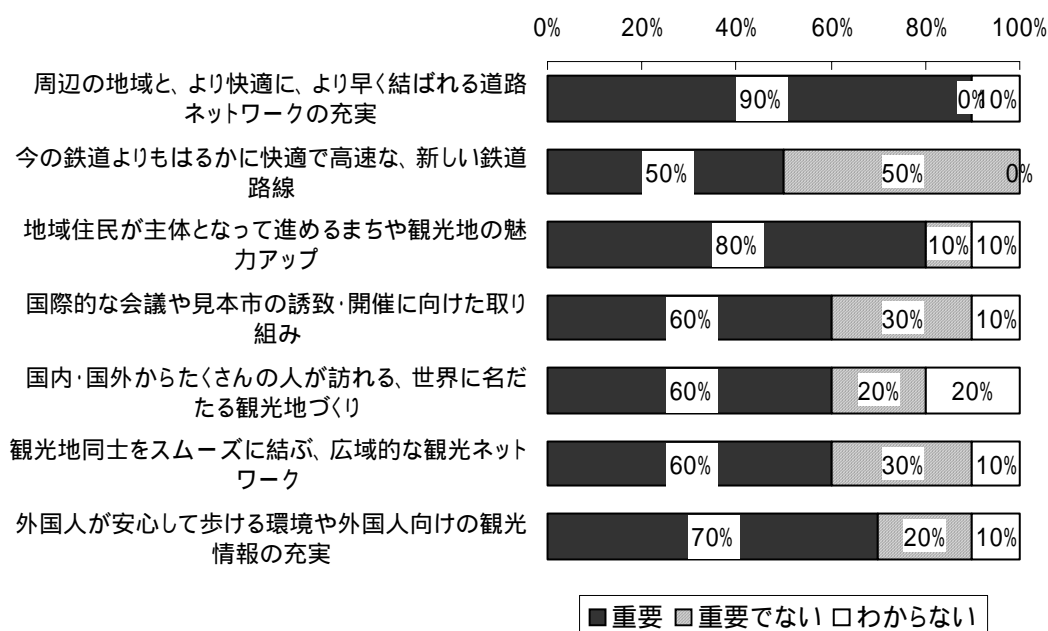
鉄道については「十分」との回答が6割を占める一方、外国人向けの観光情報については「不十分」との回答が8割を占める。

道路ネットワークの充実が9割が「重要」と回答した。

中部地方の現状に対する評価



中部地方の今後の地域づくりから見た重要性



近年整備した社会資本に対する評価

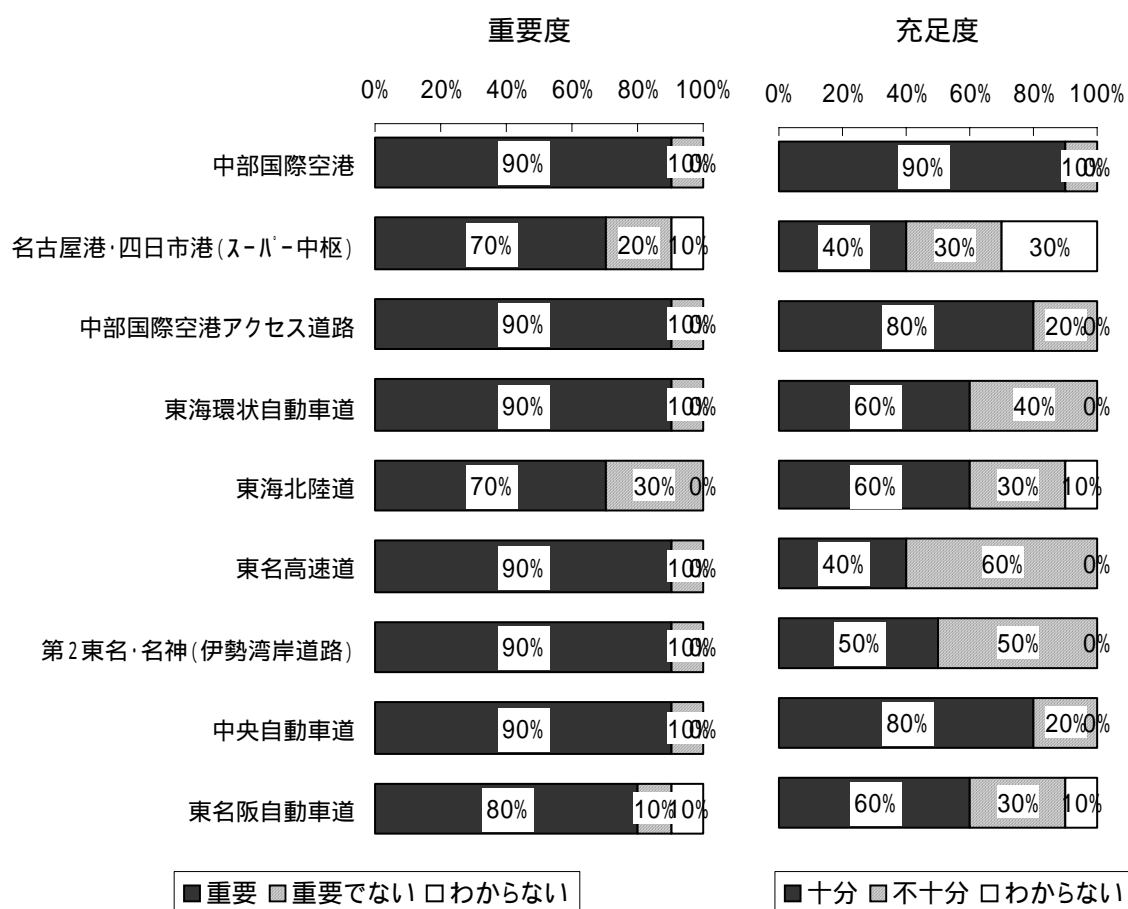
問3 近年の社会資本整備に対する評価と意見・要望

愛・地球博等のために、中部地方において近年整備を行った下記の社会資本等に関して、企業のお立場から見た重要度と現状に対する充足感をお尋ねします。以下の9つの社会資本について、評価として当てはまるものを、重要度、充足度それぞれで1つずつ選択してください。

中部国際空港、空港アクセス道路、東海環状自動車道路、東名高速道、第2東名・名神、中央自動車道については、9割が「重要」と回答している。

中部国際空港、空港アクセス道路、中央自動車道は8割以上が「十分」と回答している。

名古屋港・四日市港、東名高速道路は「十分」との回答が4割に留まっている。



< 近年整備した社会資本に対する主な意見 >

中部国際空港

- ・ 滑走路の複線化。
- ・ 滑走路の早期充実。

名古屋港・四日市港 (スーパ-中枢)

- ・ 施設の問題よりも、船舶ビジネスを活性化させることが重要です。
- ・ 港湾へのアクセスの社会資本整備。

中部国際空港アクセス道路

- ・ 夜の空港から名古屋方面の ETC がよく故障する。ETC を増やす！
- ・ 名古屋高速道路の日中の渋滞。
- ・ 有料道路の無料化、ETC の増設（知多半島道路）。

東海環状自動車道

- ・ 整備を急ぐべき。地域の活性化につながる。
- ・ 西半分は不要では？土岐美濃間の複線化を。

東海北陸道

- ・ 早急な全線開通。
- ・ 全線の複線化。

東名高速道

- ・ 混雑の解消。（季節のピーク）
- ・ 安全性アップ。（SA の再検討、道の駅などの充実、渋滞ポイントの複々線化等）
- ・ 3 車線化。

第 2 東名・名神（伊勢湾岸道路）

- ・ 亀山までの延長を急いでほしい。
- ・ 早期開通。

中央自動車道

- ・ 夏場の混雑の解消。特に長野エリア。
- ・ 安全性アップ。（SA の再検討、道の駅などの充実、渋滞ポイントの複々線化等）

東名阪自動車道

- ・ 事故多発エリアの改造が必要。
- ・ 第 2 名神との兼ね合いで重要度が変わる。
- ・ 東名阪～西名阪のバイパスの高速道路化

今後の国・地域づくりや具体的な整備要望事項に関する自由意見

問4 自由意見

- ・ 国力、環境、安全をバランスさせて社会資本整備をさせていくことが大事です。
- ・ 特に環境、安全はその行為がビジネスに連係して企業も資本を投入しやすい状況にするべきです。
- ・ そのための社会資本整備が必要なら、今までのような建築物ではなく、市民を巻き込んだ情報交換、NPO 活用などソフト面での充実が不可欠です。
- ・ 知事、政府、市町村は、強いリーダーシップ、情報発信、そして、市民の意識をモチベートさせるべきです。
- ・ 製造業、輸出入関連産業を中心に、中部地方は産業面での成長性は高い。
- ・ あわせて、中部国際空港の開港で国内各拠点（都市）との輸送・移動手段が格段によりくなり、海外との人の移動や輸送・貨物等の物流面も着実に拡大することが見込まれる。
- ・ 今後、中部地方のさらなる活性化を図るためには、国内外との人的交流が盛んになるような施策の展開とそれをより円滑に進めるための社会資本の整備であろう。
- ・ 人的交流の拡大のためには、観光客の増加とそのための PR、観光地の整備、アクセスのための道路整備が重要となろうし、大型コンベンションの開催、大型文化交流の機会の拡大とそのための機会創出・誘致や恒久施設の建設・整備が不可欠であろう。
- ・ 成長型社会の終焉。安定成長（継続型）社会へシフトチェンジそれに対応した施策。
- ・ むだな公共工事の再検討、中止（例：長良川河口堰、徳山ダムなどは本当に必要だったのか？）
- ・ 地元の意見（自治体、議会や議員でなく住民）を取り入れた環境整備
- ・ 環境に充分配慮した社会資本整備。
- ・ 社会整備を進めるにあたって十分な理解を得るための PR 活動
- ・ その時代の状況に応じ、計画変更柔軟に対応できる組織作り。